2026年11月6日

各　　位

会 社 名　　日 本 製 紙 株 式 会 社
代表者名　　代表取締役社長　瀬邊　明
（コード番号：3863 東証プライム）
問合せ先　　経 理 部 長　小出　亮
（電話番号 03-6665-1012）

特別損失の計上（震災による損失、災害による損失）及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2027年３月期中間連結会計期間（2026年４月１日～2026年９月30日）において、特別損失（震災による損失及び災害による損失）を計上しましたのでお知らせします。

また、2026年８月５日に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」にて未定としていました2027年３月期（2026年４月１日～2027年３月31日）の連結業績予想を下記のとおり修正しましたので併せてお知らせします。

記

1. 特別損失（震災による損失）の計上

当社グループは令和８年熊本地震での被害について、固定資産の減損損失、棚卸資産の評価損、操業休止期間中の固定費等151億円を当中間連結会計期間にて特別損失へ計上しました。

2. 特別損失（災害による損失）の計上

当社グループは当社連結子会社日本ダイナウェーブ・パッケージング社（以下、ＮＤＰ社）の工場で発生したタンクの倒壊事故に伴う薬品の洗浄費用、設備修繕費用など事故対応費用及び操業休止期間中の固定費等22億円を当中間連結会計期間にて特別損失へ計上しました。

3. 業績予想数値の修正

2027年３月期通期連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	未　定	未　定	未　定	未　定	未　定
今回修正予想（B）	1,220,000	△5,000	△13,000	△40,000	△346.90
増　減　額（B－A）	－	－	－	－	－
増　減　率（%）	－	－	－	－	－
（ご参考）前期実績（2026年３月期）	1,192,606	25,205	23,098	11,743	101.69

2027年３月期の連結業績予想については、2026年８月５日付「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、当社八代工場の被災状況及びＮＤＰ社の工場で発生したタンクの倒壊事故の状況について当社グループの業績に与える影響を合理的に算定することが困難なため、2027年３月期の業績予想を修正し未定としていましたが、合理的に算定可能となったことから、最近の業績動向等も踏まえた上で当該業績予想を上記のとおり修正します。

営業利益については、ＮＤＰ社の工場で発生したタンクの倒壊事故に伴う操業休止影響などにより、ＮＤＰ社は約 210 億円の営業損失を計上する見込みであり、通期連結業績予想における営業損失の主な要因となります。

特別損益は、震災（令和８年熊本地震）による損失について現時点で合理的に算定することが可能な損失約 200 億円を業績予想に含めています。

また、災害（ＮＤＰ社の工場で発生したタンクの倒壊事故）による損失については、現時点で合理的に算定することが可能な損失約 110 億円を業績予想に含めています。一方で、ＮＤＰ社が現時点で受け取った物的損害に係る保険金約 30 億円を 2027 年３月期第３四半期以降に特別利益へ計上する予定であり、業績予想に含めています。

なお、ＮＤＰ社における当該事故の発生に関連する訴訟及び当局調査の帰趨並びにこれらに伴い将来発生する可能性のある影響等については現時点で合理的に算定することが困難であり、上記の特別損失の見込額には含めていません。今後、金額を合理的に算定することが可能となり、業績に重要な影響を及ぼすことが判明した場合には、速やかにお知らせします。

加えて、事業構造改善費用として、海外連結子会社Ｏｐａｌ社における既に公表済みの人員合理化や製袋事業譲渡に伴う費用を業績予想に含めています。

（注）上記の予想につきましては現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以　上